

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2016年〈平成28年〉
11月1日第44号

平成 28 年

9月渋川市議会定例会

- 本会議のあらまし 2ページ
- 平成27年度渋川市決算を審査（決算特別委員会） 4～5ページ
- 11人の議員が市政を問う（一般質問） 8～14ページ

広報と一緒にとして保存しましょう

平成28年

9月定例会

専決処分の報告

和解及び損害賠償の額を定めることについて2件の報告がありました。市有地の草刈作業による車両破損1件、公用車と民間車との接触事故1件です。

一般会計継続費精算報告

平成27年度に完成・開通した浅田橋の整備事業について精算報告書の報告がありました。全体計画と比較し5013万4505円の不用額となりました。

市道の廃止・認定

県道高崎渋川バイパス整備に伴う市道の付け替えにより、廃止されるものと新たに認定されるもので、行幸田地内において、廃止1件、認定2件です。全員一

平成27年度一般会計決算を賛成多数で認定

あらまし

平成28年9月定例会は、9月2日から9月27日までの26日間の日程で開催されました。報告3件、市道の変更2件、人事案件1件、条例制定2件、条例改正3件、請願1件、意見書1件、平成28年度補正予算4件、平成27年度決算14件です。報告と人事案件を除く一般議案は各常任委員会へ、補正予算議案は予算常任委員会へ、決算議案は決算特別委員会へそれぞれ付託され審査を行い、平成27年度一般会計決算は賛成多数で認定されました。また請願は全員一致で採択となりました。

致で可決されました。



移転した伊香保行政センター

人事案件

人権擁護委員の候補者に藤井俊一氏（北橋町）を推薦するもので、全員一致で同意されました。

条例の改正

伊香保行政センターの移転に伴う渋川市行政センタ

1 設置条例の一部改正や、刀川小学校と三原田小学校の統合に伴い通学バス路線を追加するための通学バス条例の改正など3件です。全員一致で可決されました。

条例の制定

古巻中学校の備品充実に資する基金の設置条例と、小野子地内に設置される渋川市環境学習多目的施設の設置及び管理に関する条例の2件です。全員一致で可決されました。

請願

地方財政の充実・強化を求める請願が提出されました。全員一致で採択となりました。

補正予算

平成28年度一般会計の総



小野上地区に建設された環境学習多目的施設

額に、歳入歳出それぞれ1億552万4000円を追加し、予算総額333億4759万円とするものです。主な事業は鉄鋼スラグ対策事業や感染症予防事業などで、多数決で可決されました。

算をはじめ3件の特別会計補正予算は全員一致で可決されました。

平成27年度決算

一般会計の歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は、22億8605万2996円の黒字で、財政調整基金へ13億円を繰り入れられました。また、実質単年度収支は5億2108万3106円の黒字となり、賛成多数で認定されました。

特別会計は、国民健康保険及び介護保険は多数決で認定。ほか特別・事業会計は全員一致で認定されました。水道事業会計の剰余金の処分についても全員一致で可決となりました。

介護保険特別会計補正予

論

9月定例会では議案4件について、討論が行われました。主な討論の概要を報告します。

(※討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることをいいます。)

討

平成28年度一般会計補正予算

反対

議案のすべてに反対するものではなく、環境基準を超えた鉄鋼スラグを被覆処理して一時しのぎすることに反対。1日も早く鉄鋼スラグを撤去し、市民が安心して生活できるよう、大同特殊鋼(株)と撤去交渉を進めることを申し添えて反対。

賛成

今回の補正予算は小学校の通学バス運行や予防接種の実施、鉄鋼スラグ対策が組み込まれている。乳幼児の予防接種、温泉施設の改修等を進め、鉄鋼スラグ対策の工事が1日も早く完了し、市民福祉の向上が図られるよう要望し賛成。

平成27年度一般会計歳入歳出決算

反対

平成27年度の予算編成で事業の重点化に取り組み、保育料を第3子以降は無料化するなど評価できるものもある。しかし、(仮称)北橘運動場の残土不法投棄の問題や鉄鋼スラグ処理の問題等、安心安全対策への取り組みの問題を重視し反対。

賛成

市税の伸びはないが、将来の公債費の増加に備え剰余金を処分し、減債基金7億円を積み立てた。地域医療の充実、通園通学バス無料化、教育施設の耐震補強・空調機器整備が進んだ。引き続き市民福祉の向上が図られるよう要望し賛成。

予算常任委員会の審査

平成28年度一般会計補正予算は多数決、介護保険特別会計ほか2件の特別会計補正予算は全会一致で原案のとおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

債務負担行為補正

質疑 債務負担の通学バス運行事業の内容は。

〔答弁〕 刀川小学校と三原田小学校の統合に伴い、通学バスを1台追加するために債務負担行為の5715万円を設定するものです。児童の安全面から専門業者に委託し、入札により業者を選定する予定です。

児童福祉費

質疑 民間保育所業務効率推進事業の内容は。

〔答弁〕 子ども・子育て新制度に伴い、就労時間による保育認定が導入され、事務が複雑になりました。保育時間や保育記録等のシステム化により、効率よく保育を実践していきます。

保健衛生費

質疑 感染症予防事業の内容は。

〔答弁〕 今回のB型肝炎ワクチン接種は、乳幼児等の感染症防止のため、10月から定期接種化されたもので、本年度対象者数415人で、接種回数は3回、委託先は渋川地区医師会です。

商工費

質疑 県信用保証協会の損失補償金の内容は。

〔答弁〕 上半期で3者、4件の損失補償です。業種については販売業、飲食業、機械加工業です。過去の状況は、平成27年度4件、平成26年度6件、平成25年度7件です。

質疑 温泉施設管理運営事業の修繕費の内容は。

〔答弁〕 渋川温泉きらめきの湯及び北橘温泉ばんどうの湯源泉施設の修繕費で、主な内容は、湯湯ポンプの分解点検及び水中ケーブル、

水中モーターの更新等で、総額474万3000円です。



交換された湯湯ポンプ

土木費

質疑 スラグ対策事業の市道分の内容は。

〔答弁〕 深度調査業務委託を市道1―5590号線で実施します。

また、舗装被覆工事を、市道1―1106号線(延長149・3m)、市道1―5130号線(延長54m)、市道4―5284号線(延長189・2m)、市道4―5290号線(延長23・7m)、中村地区水路(延長22m)の5カ所で施工します。

決算特別委員会の審査

平成27年度一般会計決算、国民健康保険特別会計決算及び介護保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定されました。

決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

一般会計

歳入関係

質疑 赤城マレットゴルフ場使用料を見直す考えはあるか。

答弁 高齢者の健康維持増進に寄与している施設ですが、使用料の見直しについては、他の体育施設と併せて検討したい。

質疑 赤城・北橘歴史資料館の利用状況は。また統廃合の考えはあるか。

答弁 平成27年度の歴史資料館入館者数は、赤城1322人、北橘2745人でした。

資料館の統廃合については、収蔵資料の管理等の課題と併せて、現有施設の活用を基本に検討を進めます。

質疑 定住促進住宅半田・金島団地の入居状況と収入額は。

答弁 入居状況は半田団地が80戸中77戸で入居率は96・3%、金島団地が80戸中64戸で入居率は80%です。住宅使用料の収入額は、2団地合計で3155万101円です。市全体の住宅使用料収入額に占める割合は21・7%です。

総務費

質疑 ふるさと通信発行事業の委託業務の内容は。

答弁 年2回の発行で、企画・編集会議への出席、テーマに基づく取材及び原稿の作成、レイアウトの作成、印刷製本作業（各号1700部、A4版、8ページ、フルカラー）、成果品の納品です。

民生費

質疑 次世代育成支援対策推進事業の「恋活」と「婚活」の違いは何か。ストーリーカー等のトラブルは発生していないか。

答弁 「恋活」については独身男女の出会いの場の提供や、事業を実施する団体への支援を行いました。ストーリーカー対策については、実施団体から誓約を取るなど、個人情報管理を徹底して行っています。

質疑 親子安心お出かけ応援事業の内容は。

答弁 子育てを安心して楽しめるよう授乳やおむつ替えができる施設を紹介しま



利用が期待される赤ちゃんの駅

した。現在は57施設が登録され、今後も協力施設を増やし、地域で子育てを応援する取り組みを推進します。

農林費

質疑 よみがえれ！元気な農業プロジェクト事業の川崎まつりの内容は。

答弁 市の農産物と観光を併せたPRを行うため、会場にブースを設置し出店をして、今後、本市に観光に来てもらって、観光農園等で楽しんでもらうための取り組みを行いました。

質疑 有害鳥獣駆除対策事業の委託先と駆除実績は。

答弁 委託先は市内の猟友会です。渋川第1隊をはじめとして、全部で8隊を編成しました。

地区別の捕獲頭数は、渋川地区71頭、伊香保地区28頭、小野上地区20頭、子持地区35頭、赤城地区134頭、北橘地区91頭で、合計379頭でした。

教育費

質疑 通学バス運行事業の不用額が多い理由は。また無料化と公平性についての



川崎まつりの風景

考え方は。

答弁 不用額が多い理由は通学バスの運行実績が見込みを下回ったため、委託料の不用額が多くなったものです。

通学バスの無料化と公平性については、通学バスの運行事業は遠距離通学する児童・生徒の利便性と安全を確保することを第一に考え実施しています。

質疑 中学校施設耐震補強事業費の総額は。

答弁 小・中学校耐震補強事業は平成27年度をもって終了し、事業費の総額は、30億2837万円でした。

国民健康保険特別会計

質疑 決算の被保険者数等が予算より減少した理由は、また、被保険者数が減少したのに医療費の支出が増加した理由は。

答弁 被保険者数等が減少した理由は、社会保険への加入者数が見込みを上回ったこと等によるものです。

また、1人当たりの医療費は、被保険者の高齢化や医療の高度化により年々増加傾向にあります。平成27年度は、特に高額薬剤の影響により大きな増加となりました。

質疑 診療所の医療体制と存続する意義について、どう考えているか。

答弁 診療所の体制は、医師2名、看護師4名（うち2名は臨時職員）ですが、現在、医師1名が病休中です。

高齢化が進む中、地域包括ケアシステムの構築が重要となるため、今後は介護と福祉の連携をさらに推進

し、訪問診療を充実させていきたいと考えます。

介護保険特別会計

質疑 保険給付費において約2億700万円の不用額が生じた理由は。

答弁 保険給付費は前年比で0・8%微増しました。

理由のマイナスイメージは、介護報酬が平成27年度の改定により、サービス全体で2・3%引き下げられたことです。プラス要因は、要介護認定者及びサービス利用者が共に1・7%増加したことです。



あかぎ診療所

〈平成27年度一般会計〉

373億円の主な使い道

土木費

道路維持管理事業
1億7396万4116円
地域医療センター周辺
道路等整備事業
6402万2780円



支出総額27億6375万円

民生費

ひとり暮らし高齢者等
緊急通報システム設置事業
1348万6704円
学童保育対策事業
1億508万2980円



支出総額110億4849万円

総務費

乗合バス運行費補助事業
1億5268万2862円
自治会連合会等支援事業
1億1764万9943円



支出総額71億3017万円

教育費

英語教育充実事業
4679万2071円
小学校空調機器整備事業
1億2275万5751円



支出総額47億2546万円

農林水産業費

豪雪災害緊急対策支援事業
369万6455円
畜産競争力強化対策
整備事業
1億1764万9943円



支出総額28億6039万円

消防費

防火水槽新設事業
1427万7600円
自主防災組織育成事業
269万2937円



支出総額12億211万円

衛生費

救急医療対策事業運営費
2162万7000円
容器包装分別収集事業
7425万9552円



支出総額27億278万円

商工費

新市誕生10周年記念
プレミアム付商品券発行事業
4億2750万1060円
市民ふれあいプラザ運営事業
307万5406円



支出総額14億258万円

常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです

総務市民常任委員会

市有墓地、管理料年額1200円に

洪川市有墓地条例の一部を改正する条例

質疑 現在の墓所の区画数は。維持管理費用は。

答弁 785区画あり、現在利用しているのは、743区画です。トイレの清掃

や除草などの維持管理料は年間約95万円程度です。

質疑 管理料を5年間滞納すると、墓所が消滅される。どのような手段で行うのか。

答弁 未納者へはその関係者も含め催告を行います。

5年を経過した者については、1年間の公告を行い、墓所を整理します。

質疑 年額1200円なので、利用者にとっては10年前納などの希望もある。市として債権管理上も有効と

思うが対応は。



伊香保地内の市有墓地

答弁 関係部署と調整して、前向きに検討していきます。

全会一致で可決しました。

常任委員会協議会

洪川市空家等対策計画（案）、洪川市民ゴルフ場跡地利用基本計画、洪川市南部地域振興に係る事業方針の一部変更についての3件の報告がありました。

南部地域振興については、これまで八木原駅の東西を結ぶ自由通路を短期計画に位置づけていましたが、J

Rとの協議により、橋上駅舎と自由通路の一体整備を行うことにして、長期計画に変更しました。また、多額な財源を確保するため、社会資本整備総合交付金の申請を有利にする立地適正化計画の策定を進めます。

なお、駅東の進入道路や駅東ロータリー等の整備については、計画どおり短期的整備として進めます。委員から、市として目標年度を定め取り組むべきと要望がありました。

経済建設常任委員会

市道の廃止について

「市道1―2537号線」主要地方道高崎洪川線バイパス道路整備に伴う市道の付け替えにより廃止するものです。

全会一致で可決しました。

市道の認定について

「市道1―2537号線及び市道1―2728号線」主要地方道高崎洪川線バイパス道路整備に伴う市道の付け替えにより認定するものです。

質疑 高崎洪川線バイパスと南部幹線との交差部分の仕上がりは。

答弁 直角の平面交差になります。

全会一致で可決しました。

常任委員会協議会

洪川市下水道事業等における地方公営企業法の適用についての説明がありました。下水道事業の成績や財政状況を明確にし、経営の健全化を図るものです。

北橋農産物加工所整備事業に係る訴訟について経過等の報告がありました。補助金の交付に関連し、住民訴訟が提起されたものです。

刀川小学校と三原田小学校が平成29年4月に統合することに伴い、通学バスの範囲を拡大するものです。

この改正により樽・北上野線について、見立地区の一部も利用できるようになります。

委員から「通学バス運賃が無料になったのはよかったが、学校から2・5km以上を条件とする乗車規定により、通学バスを利用できない児童・生徒がいる。危険な山道や一人きりでの通

教育福祉常任委員会

洪川市立古巻中学校山根基金条例

古巻中学校卒業生から市へ1000万円の高額な寄付がありました。母校のために役立ててほしいとのご意向であつたことから、この寄付金をもとに「山根基金」を創設し、古巻中学校の備品等の充実のための財源に充てるものです。

全会一致で可決しました。

洪川市通学バス条例の一部を改正する条例

刀川小学校と三原田小学校が平成29年4月に統合することに伴い、通学バスの範囲を拡大するものです。

この改正により樽・北上野線について、見立地区の一部も利用できるようになります。

委員から「通学バス運賃が無料になったのはよかったが、学校から2・5km以上を条件とする乗車規定により、通学バスを利用できない児童・生徒がいる。危険な山道や一人きりでの通

学環境、昨今の社会環境の悪化等も考慮し、改善するべきである」との意見が出されました。

教育長から「2・5kmの条件は運用の目安として考えている。個々の条件に応じた対応は常に考えているので申請してほしい」との答弁がありました。

全会一致で可決しました。

常任委員会協議会

渋川市手話言語条例制定に向けた取組状況、渋川市みかげデイサービスセンター跡地貸付候補者の決定、渋川市包括支援センターの機能強化案、(仮称)東部学校給食共同調理場の整備についての報告がありました。



民間委託予定のみかげ
デイサービスセンター

環境問題特別委員会のあらまし

鉄鋼スラグを含む碎石の使用状況調査結果について

現在までに確認された鉄鋼スラグを含む碎石施工箇所は78カ所です。

それぞれ群馬県環境森林部環境保全課へ調査結果を報告し、その後、同課からの依頼により市環境課が鉄鋼スラグを含む碎石施工箇所周辺の井戸調査を行い、非飲用を含む79本の井戸について、県環境保全課で水質検査を実施した結果、すべて環境基準値以内であることが確認されています。

その後、新たに2カ所(市道と公園)の鉄鋼スラグを含む碎石施工箇所が判明し、分析調査を行なった結果、スラグ碎石で溶出量の基準値超過が2カ所、含有量の基準値超過が1カ所、土壌で溶出量の基準値超過が1カ所確認されました(「基準値超過」は、六価クロム、フッ素のいずれか、または両方で基準値を超過してい

る箇所です)。

大崎緑地公園については、大型土のうが2段積みになっていることから、直下の試料採取が困難であるとの報告がされました。

今回、新たに判明した2カ所の分析結果並びに位置を県に報告します。

鉄鋼スラグ対策事業の取組について

大同特殊鋼(株)と基本協定書を締結した72カ所のうち対策措置が必要な45カ所の対策について、平成28年2月補正の予算措置(9カ所)及び平成28年9月定例会の予算措置(9カ所)を合わせた平成28年度末の進捗予定率は次のとおりです。

- ・鉄鋼スラグの撤去予定箇所(9カ所)のうち、土壌汚染調査の進捗予定4カ所(44・4%)
- ・舗装等の表面被覆予定箇所(36カ所)のうち、舗装被覆工事の進捗予定14カ所(38・9%)

今後の鉄鋼スラグ対策事業については、大同特殊鋼(株)と変更の基本協定書を締結し、個別契約を締結した箇所から対策を行うこととなります。

質疑 大崎緑地公園に大型土のうを施工した経過は。

答弁 平成10年の利根川増水により公園の一部が流出したことに伴う施工です。

質疑 鉄鋼スラグを産業廃棄物と認定したのになぜ撤去しないのか。

答弁 鉄鋼スラグに関する連絡会議で対応方針が決定しており、原則存置となっています。

また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律は、生活環境の保全を図ることを目的の一つとしており、生活環境に支障が生じた場合、その支障の除去等の処置を命ずることができる観点から、これまでの調査結果では、地下水への影響は確認されておらず、直ちに法に基づく撤去命令等、措置が必要となる事例は、認められていません。

第3回臨時会のあらまし 7月25日(月)

市長専決処分報告

中学校の野球部の練習中、ボールが駐車中の軽自動車に当たり、ドアを損傷させた案件、市道管理の問題により、走行中の乗用車のバンパーを損傷させた案件の2件について報告がありました。

いずれも、和解が成立し、相手方に賠償金が支払われたものです。

一般会計補正予算を審議

今回の補正予算は、渋川総合病院跡地利用に係る子育て支援施設整備費として、3億9000万円を追加するほか、パース学園が使用する空調設備工事費1億1200万円が歳出の主なもの、歳入では、市債と繰越金がこの財源として充てられます。

慎重な審議の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。

～11人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問

P 9 平方 嗣世 議員

- ガラス張りの市制について
 - 1 市民への信頼回復を目指した方策は
 - 2 合併協定事項の進捗と見通し
- 人口減少と蘇活について
 - 1 「医療のまち」「子育てのまち」「教育のまち」の重点施策
 - 2 小野上住宅団地造成と木の間温泉
 - 3 吾妻橋りょう2について

P 10 星野 安久 議員

- 安心して暮らせる老後への施策
 - 1 介護保険制度
 - 2 年金
 - 3 介護慰労金
 - 4 その他の施策

P 11 山内 崇仁 議員

- 子育て支援の充実
 - 1 母子健康手帳の電子化について
 - 2 子育て支援拠点施設整備事業について
 - 3 子育て支援体制の連携について
- 障がい者福祉について
 - 1 発達障がい者の支援について
 - 2 各福祉資源の連携について

P 12 茂木 弘伸 議員

- 公共施設の利活用について
 - 1 坂東橋緑地公園自由広場
 - 2 旧小野上中学校体育館
 - 3 渋川市民ゴルフ場跡地

P 13 望月 昭治 議員

- 市道4-4244号線について
- 旧棚下小学校及び旧三原田小学校栄分校について
- 旧赤城南診療所跡地の利活用について
- 棚下不動の滝の道路について
- 市有林について

P 9 須田 勝 議員

- やすらぎとふれあい（生活編）
 - 1 合併後の地域格差
 - 2 自治会の再編統合
 - 3 各種募金、協力金、会費

P 10 安力川 信之 議員

- 希望が行き渡る渋川のために
 - 1 子どもの貧困対策
 - 2 介護保険と渋川市の役割
 - 3 ゴミ減量化の取り組み

P 11 細谷 浩 議員

- これからの渋川市について
 - 1 農業振興について
 - 2 防災対策について
 - 3 生活環境整備について

P 12 丸山 正三 議員

- （仮称）北橋運動場整備工事について

P 13 加藤 幸子 議員

- 子ども・子育て支援制度
 - 1 学童保育所の現状と保育料について
- 災害対策
 - 1 午王川上流の護岸対策について
- 地域振興策について
 - 1 創作こけしの現状と今後のあり方について

P 14 角田 喜和 議員

- 環境問題について
 - 1 産業廃棄物行政について
 - 2 ゴミの資源化と収集について
- 手話言語条例制定について

一般質問の詳しい内容は会議録をご覧ください。
渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会
ホームページ

会議録検索
システム

一般質問



やすらぎとふれあい（生活編）

須田 勝 議員

合併後の地域格差

質問 対等合併から10年経過した。伊香保石段街整備や中心市街地整備が主と感ずる。格差を認識し、どう捉え、今後どう考えるか。

企画部長 各地区の特性を生かしながら、様々な課題を克服し、市の目指す将来像を実現し全体の活性化に結びつくよう取り組みます。

質問 各地区の祭りの補助金にも格差がある。どう対処するか。

商工観光部長 各地区の祭りは地域に多大な役割を果たしています。市としても大切に考えていますので、今後検討していきます。

自治会の再編統合

質問 人口減で世帯数も減少、自治機能が低下している。行政が積極的に、再編成の指導をすべし。

市民部長 自治会の再編は、自治会が主体となって進めていくことが基本ですが、市としても自治会とともに研究していきたい。

各種募金、協力金、会費

質問 自治会に集金を依頼しており任意であるが、強制徴収と

なっている。集め方に問題あり。

特に社会福祉協議会は、会費を集めずに運営方法を検討すべし。

保健福祉部長 募金等の集め方は各団体が自治会にお任せしている状況です。社協は会員組織なので会費による運営が本来のあり方と考えます。自治会は地区社協の分会として協力いただいています。

阿久津市長の進退

質問 残り1年で2期目が終了。引き続き3期目を目指すのか。

市長 後援会や支援者と相談しながら今後の進退を考えていきたい。



赤い羽根共同募金



ガラス張りの市政・子育て支援

平方 嗣世 議員

ガラス張りの市政

質問 昨年の不祥事以降、市政に一点の曇りもあつてはならない。私が提唱した「ガラス張りの市政」を今後推進すると理解してよいか。

市長 ガラス張りの市政を推進するということで、これからも進めさせていただきたいと思っています。

質問 現在の不祥事防止策は職員向けであり、職員へ責任転嫁している。要は特別職の起こした事件、特別職の再発防止策を作るべき。

市長 組織的監視は難しいと考えます。地方公務員としての自覚と特別職の責任を持つて職務にあたるのが基本になると考えます。

質問 市長の権限は法で保障されている。反面、責任も重大である。税金利用時間帯はすべてが公務であり、特別職の不祥事は市長にも監督責任がある。その自覚は。

市長 公務として日程にあるものは市長も承知しており報告も受けますが、公務以外のプライベートについては副市長が自分で責任を持って行動することになります。

子育て支援

質問 幼児の入院時の個室利用料金や出生前診断の保険適用外健診費用等に助成する考えはあるか。

保健福祉部長 入院に関する部分は今後の課題です。また障害者に差別のない社会の実現に取り組んでおり、助成の考えはありません。

質問 移住者住宅支援制度の対象者に市内在住者も加えるべき。

建設部長 市内個人住宅の建築確認申請は年間240件あり、このうち市内申請者は170件であることから、今後検討したい。



乳幼児健診

一般質問



学校給食費完全無料化を！

安力川 信之 議員

質問 頑張った子が報われる、返済を減免できる洪川版奨学金の創設を。

教育長 努力を評価する仕組みについては検討に値するものですので、国の奨学金の動向を見据えながら、民間資金の導入を含め検討していきたいと考えています。

質問 来年度から学校給食費の完全無料化を。

教育長 給食費の無料化には、毎年多額の財源が必要となることから、引き続き、財源の見込みを十分精査し検討をしていきたい。

質問 家族がいても日中一人暮らしの方への見なし独居として、市として新たなサービスの充実を。

また移動支援として、福祉有償連送事業を全市に展開すべき。

保健福祉部長 日中独居の方へのサービスは現在いくつかありますが、さらなる充実を今後も検討していきます。

また、移動支援についても同様に検討していきます。

質問 小学校で認知症キッズサポ

ーター養成講座を。

保健福祉部長 養成講座の実施に向け、準備を進めています。

教育部長 認知症への理解を深めるため、取り組みたいと考えます。

質問 ゴミ減量化へアプリの導入を、またプラスチックゴミの分別の考えは。

市民部長 利用者の利便性につながることから検討をしていきます。また、分別については、実施に向けた協議を進めております。



給食の風景



安心して暮らせる老後への施策

星野 安久 議員

措置入所制度とは

質問 財政的に厳しい生活環境の中で、施設入所を考えたとき、市の権限で入所を決める措置入所制度とは。また、その利用状況は。

保健福祉部長 この制度は精神障害や認知症また虐待などで、日常生活ができなく親族等の支援が得られない方を、市が養護老人ホーム等に措置するものです。現在県内8施設に45名入所しています。

年金の将来に不安はないか

質問 年金も支給年金額の引き下げ、受給年齢の引き上げと不安が多い。未納の状況は、将来的にもさらに厳しくなるのか。

市民部長 平成27年度の収納率は71%でした。年金制度は国の制度のため、市が将来の見通しを示すことはできない状況です。

福祉バス運行の考えは

質問 交通弱者のための市内循環型の無料福祉バス運行の考えは。

保健福祉部長 元気な高齢者やボランティア団体による交通支援などを考えており、近所の高齢者を

買物や病院等に乗せていただけるような仕組みを検討しています。

介護慰労金の引き上げを

質問 自分の親は自分で見ることが人としての基本である。こうした介護者に慰労金が支給されているが、今後の介護保険制度に対処するため引き上げる考えは。

保健福祉部長 慰労金は原則介護サービスを受けていない方が対象となります。現物支給ではなく必要なサービスを使っていたら、在宅介護の負担軽減につなげていただきたいと考えています。



全地域への運行が望まれる福祉バス

一般質問



どうする？これからの渋川

細谷 浩 議員

質問 渋川市の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」が見直されるが、その目的は。

農政部長 将来の農業ビジョンを描き、農政を推進していく目標について、基本的な方向等を示すもので、近年の農業情勢等の変化に即した見直しを行ったものです。

質問 基本構想の中に、農業所得の年間目標が、主たる従事者は400万円、1経営体で630万円とあるが、その算出根拠は。

農政部長 農業後継者が農業を職業として選択し、他産業と同等の所得等を示すため、群馬県内の勤労者世帯収入の統計データを基に算出したものです。

防災・減災対策

質問 全戸に配布されたハザードマップの活用方法は。

総務部長 家庭では、災害への備えの資料として、地域では、危険箇所や避難所の確認、避難経路決定に活用することを推進します。

質問 市民に情報を伝える手段として防災行政無線が使われている

が、聞き取りにくい市民への対応は。また情報を伝える他の手段は。

総務部長 防災行政無線自動応答サービス(201122)や、ほつとマップメール、ホームページに加え、災害時は車両広報を行い、正確な情報提供に努めます。

質問 市内全自治会に組織された自主防災組織に期待することは。

総務部長 災害時に地域の人たちがお互いに力を合わせる「共助」の活動によって、要配慮者対応や避難所運営を行うなど、地域防災力の向上が期待されます。



大雨による土砂災害



子育て支援の充実について

山内 崇仁 議員

子育て支援の充実について

質問 各地で妊婦健診結果や子どもの成長記録をインターネット上で管理する「電子母子健康手帳」が始まっている。渋川市の対応は。

保健福祉部長 現在サービスを行っている前橋市の具体的な取り組みや、導入方法などを参考にし、近隣の市町村の状況を見ながら検討していきます。

質問 子育て支援拠点施設の事業はどのように展開していくのか。

保健福祉部長 子育て親子が気軽に集まり、遊びを通して交流を深める場所として、またコンシェルジュによる窓口を充実させます。

質問 子育て支援体制にはさまざまな部門が関連しているが、情報共有、連携はどう進めているのか。

保健福祉部長 事業の実施には、関係機関で運営会議を重ねることで、情報共有、連携できる体制づくりを検討し、市民が利用しやすいサービスを目指していきます。

質問 「のびのび発達相談」「のび

のび発達教室」を開設したが、本市独自の支援センターの計画は。

保健福祉部長 独自の児童発達支援センター設置の計画はありませんが、群馬県発達障害者支援センターの相談待機児の状況を踏まえ、設置の必要性を研究します。

質問 障害分野・児童分野・生活困窮等多岐にわたる分野の連携が必要となるが行政としての見解は。

保健福祉部長 それぞれの分野がさらに連携意識を高め、すべての市民が関わる地域福祉ネットワークの体制づくりが必要と考えます。



電子母子健康手帳

一般質問



(仮称)北橘運動場整備工事について

丸山 正三 議員

質問 今回の土砂搬入が建設工事

契約約款第13条第2項に違反している事について、どう考えるか。

建設部長 盛土材に不適切な土砂を、市と協議せず無断で搬入したことは、契約に反すると思います。

質問 不法に搬入された1458m³の土砂をなぜ撤去しないのか。

建設部長 30cmを超える石や道路用地盤改良土の塊、コンクリート殻を除去した土砂は、盛土材に利用して問題ないと判断しました。

質問 1458m³の土砂を不法搬出しなければならなかった理由として何が考えられるか。

建設部長 ブロック積擁壁倒壊後、受注者から搬入経過について報告がありました。搬出理由については明らかにされませんでした。

質問 不法搬入土の出元について、きちんと調査したか。

建設部長 受注者から書面で、3カ所の現場から搬入したと報告がありました。

質問 地盤改良土(ソイルセメント)の分析結果が出る前に盛土を

行ったのはなぜか。

建設部長 10cm以下の道路用地盤改良土は、分析の結果、環境基準値以内でしたので、そのまま盛土材として施工しました。

質問 丁張り検査、切土、盛土、構造物等の段階確認等はどうに行っていたのか。

建設部長 段階確認は9回行いました。本来、段階確認は受注者から市に連絡があつて行うものですが、連絡がなく市監督員も指摘しなかったため、一部、段階確認せずに施工された工程がありました。



不法搬入された土石とソイルセメント



公共施設の利活用について

茂木 弘伸 議員

質問 坂東橋緑地公園自由広場を

市外の有料会員制団体に定期利用を許していいのか。渋川市民が優先的に利用できるようにルール作りができないのか。

建設部長 掲示板による利用予約方法により独占した利用状況が見受けられます。渋川市公園条例に基づき事前に申請を行い市長の許可を得ることに改善します。

質問 自然環境に恵まれた旧小野上中学校体育館、テニスコート、旧校舎を利用し市内外より合宿等呼び込み活用する考えは。また近くに温泉、宿泊施設がある。併せて北部振興策を計画できないか。

企画部長 校舎の利用は、地元自治会から意見を聞くことになっています。周辺の温泉宿泊施設を生かした合宿などの誘致を図っていきたいと考えています。

市長 スポーツによる交流人口の拡大も北部振興の一つの方法であると考えています。

質問 市民ゴルフ場跡地利用 土地の承継はどのようにす

るのか。

総務部長 渋川市中村向島地区土地利用組合を窓口として、土地賃借契約等の事務を進めます。

質問 跡地利用について、多くの団体から使用要望はあるか。

総務部長 幅広く市民意見を取り入れて整備内容を検討します。

質問 大崎緑地公園と一体利用したらどうか。

総務部長 跡地の本格的利活用に向けて、利根川右岸河川敷に近接する公園の利用状況を踏まえ一体的な利活用の検討をします。



今後の活用が期待される市民ゴルフ場跡地

一般質問



学童保育所に安心して預けられるための改善を

加藤 幸子 議員

質問 子ども・子育て新制度で市は学童保育所の経営に積極的に関与するとなっている、学童保育所の助成金を増やし、学童保育料を吉岡町並みの5千円程度に引き下げることや、指導員の処遇改善と

多人数の学童保育所では新施設に分けることが必要と思うが考えは。

保健福祉部長 保育料は各クラブ

が、活動内容を基に決めて運営しています。指導員処遇改善は市単独で補助を行っています。今後もクラブごとの児童数が適正となるよう進めていきます。

質問 五輪平の午王川護岸沿いに

搬入された土砂の管理指導はどうなっているか。午王川の豪雨時の水害対策として、上流の堆積土除去や高浜バイパスで掛かる橋付近の護岸対策等を県に要望すべき。

市民部長 土砂の管理指導については、県と市で連携して対応していくことになっています。

建設部長 川底の土砂揚げや護岸対策について、危険と思われる箇所があれば、災害の未然防止のため、県に堆積土撤去を含めお願いしているところだ。

質問 毎年創作こけし展が市民会館で開催され、芸術的にも評価されている。市では創作こけしに貢献してきた3人の現代の名工の顕彰は考えているか。公共施設や旅館組合との連携でこけし展の開催や常設展示場の計画はあるか。

教育部長 3人の方については、創作こけし美術展の中で特設展示するなどの顕彰方法を検討します。常設展示については、こけし人形の意見を伺いながら検討します。



学童保育所で宿題をしている子どもたち



通り抜け禁止の解除を

望月 昭治 議員

通り抜け禁止の解除を

質問 国道353号北群馬橋交差点左側の道路は、通り抜け禁止になっているが、渋滞緩和のために解除にならないか。

建設部長 国道353号交差点改良工事の着手の見込みがついたことから、通り抜け禁止看板を撤去いたしました。

廃校の貸し出しに不安

質問 廃校になった棚下小、三原田小栄分校は、耐用年数も切れ、老朽化しているのに民間に貸し出している。安全面に問題はないか。

総務部長 老朽化の状況等を踏まえ、借受人と退去等について協議の上、建物の取り壊しや公売等の検討を進めます。

本当にできるか、東部給食調理場

質問 赤城南診療所跡地に予定されていた給食調理場、だいぶ遅れているが、本当に建設できるのか。

市長 建設時期は遅れましたが、平成29年度に実施設計に着手し、平成32年度の2学期からの稼働を目指し、施設の建設を進めたい。

棚下の滝付近道路の整備を急げ

質問 東日本大震災で被害を受けた棚下の道路、何年たつても手付かずである。地域の安全と観光資源を守るために早急な復旧を望むが、その考えは。

市長 ここは観光地ですので、安全宣言をする場合は慎重にしなければいけません。自然災害について、今も豪雨が発生している状況の中で、安全宣言は難しい問題です。安全対策の工法を再度検討するため、県の専門官と相談していきます。



撤去された通り抜け禁止の看板

一般質問



ゴミ減量化と回収品目の拡大を

角田 喜和 議員

質問 家庭ゴミ処理は広域圏で行っている。循環型社会構築に向けプラスチック製容器及び発泡スチロールなど収集分別品目を市として増やす考えは。

市民部長 分別収集については、収集品目の拡大も含め、現在広域組合と市町村の事務レベルであります。実施に向けて協議を始めています。

質問 渋川市手話言語条例策定に向け準備が進められている。どのような条例にするのか。また、これを機会に新生児聴力検査の助成の考えは。

保健福祉部長 ろうあ者団体の発祥の地である渋川市にふさわしい内容となるよう、言語条例制定推進協議会において十分な検討と協議を進めています。聴力検査の助成については、他市の状況を見ながら検討したいと考えています。

質問 (仮称)北橋運動場から基準値を超える六価クロムが検出された。産業廃棄物として土壌の撤去を含め片付ける考えは。

建設部長 今回、六価クロムが検出された地盤改良土の塊は土砂の扱いです。ただし、六価クロムが環境基準値を超えた塊については産業廃棄物に準じて処理します。その他の土砂等については現状のままで作業を進めます。

質問 六価クロムが基準値を超えたソイルセメントは特別管理産業廃棄物ではないのか。

建設部長 ソイルセメントは地盤改良土であり、関係法令上、産業廃棄物には該当しません。

質問 六価クロムが基準値を超えたソイルセメントは特別管理産業廃棄物ではないのか。



投棄された土砂を調査する職員

請願・陳情

採択

〇地方財政の充実・強化を求める
請願書

〈要旨〉

地方自治体は、果たす役割が拡大する一方で、人口減少などの新たな課題にも直面している。こうした状況の中、社会保障と地方財政の歳出削減の議論が加速している。地方財政の削減は、国民生活と地域経済に疲弊をもたらす。

政府予算、地方財政の検討に当たり、次の事項の実現を求める。

- 1 地方自治体の財政需要を把握し、財源確保を図ること。
 - 2 急増する社会保障ニーズに対応できる予算を確保すること。
 - 3 地方財政計画に計上されている財源について、現行水準を確保すること。
 - 4 地方交付税の財政保障・財政調整機能の強化を図ること。
- (請願者 日本労働組合総連合会 群馬県連合会北部地域協議会)

議会の用語を
解説します

〔請願〕

住民から、国や県、市などに対し、さまざまな要望をすることです。

国や県、市は請願を受理する義務がありますが、必ずその内容が実現されるものではありません。

請願をする場合は、請願者の住所氏名、要望の趣旨や理由などを書面にし、議員の紹介を経て、議長あてに提出します。

〔陳情〕

請願と同様に、住民から、国や県、市などに、さまざまな要望や意見の申し出をすることです。

請願との違いは記載内容に決まりがないことと、議員の紹介の必要がないことです。

(※ 渋川市議会では陳情は審査されません。報告のみになります。)

常任委員会行政視察報告

経済建設常任委員会

日程 7月12日～14日
場所 新潟県糸魚川市

石川県七尾市

ジオパークによる観光振興

糸魚川市は日本で初めて

「世界ジオパーク」に認定され、24のジオサイト（地質や文化、歴史を感じられる場所）が存在し、フォッサマグナミュージアムは年間入館者数6万人を維持しています。このように地形や地層などの地質的特徴を観光資源として位置づけ、学習活動やジオツーリズムなどを積極的にを行い、地域振興に取り組んでいました。

まちなか観光

七尾市の中心市街地はかつての城下町であり、町家造りや寺院群などの歴史的建造物が見られます。

郊外の開発により市街地の空洞化が進む中、残された歴史的建造物と地域の庶民の風習である「花嫁のれん」を生かした「まちなか観光」を行い、賑わいの創出に取り組んでいました。



経済建設常任委員会の行政視察

教育福祉常任委員会

日程 8月22日～24日
場所 青森県十和田市
青森県弘前市

日本一を目指した特色ある

教育活動の推進

平成17年に新設合併により誕生した十和田市では、小・中学校で各校が決めた活動テーマにおいて創意工夫し日本一を目指す、特色ある教育活動を行っていました。費用は教育委員会が市長特別枠予算で確保し、

3年計画で26校に計240万円を助成しました。

市の教育力で児童の自信をつくり出していました。

弘前市駅前子どもの広場

弘前市では駅前の再開発商業施設の3階フロアを使用し、子育て支援センター（託児所、授乳室、トイレ、多目的室、相談室）と遊び場（木製の遊具が主なもの）を整備。その周囲には、行政総合窓口や高齢者



教育福祉常任委員会の行政視察

健康トレーニング室等があり、市民の憩いの場としても活用されていました。

12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (一般質問)	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)		
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (表決・閉会)					
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

渋川市議会はインターネット中継しています。渋川市ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/>

渋川市議会

検索

渋川市
公式ホームページ

渋川市議会

議会放映システム

中継を見る
(ライブ・録画)

平成28年9月定例会の審議結果

条例の制定……………原案可決

- 渋川市立古巻中学校山口基金条例
- 渋川市環境学習多目的施設条例

条例の改正……………原案可決

- 渋川市行政センター設置条例の一部を改正する条例
- 渋川市通学バス条例の一部を改正する条例
- 渋川市有墓地条例の一部を改正する条例

平成28年度補正予算……………原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第3号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市農産物直売事業特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて（2件）

報 告

- 平成27年度渋川市一般会計継続費精算報告書の報告について

人 事……………同 意

- 人権擁護委員候補者の推薦について

その他……………原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について（2件）

平成27年度決算……………認 定

- 渋川市一般会計歳入歳出決算について
- 渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市下水道事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について

- 渋川市病院事業会計決算について

平成27年度決算……………原案可決

- 渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について

請願・陳情……………採 択

- 地方財政の充実・強化を求める請願書

意見書……………原案可決

- 地方財政の充実・強化を求める意見書

第3回臨時会の審議結果（7月25日開催）

平成28年度補正予算……………原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第2号）

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて（2件）

編集後記

今年の夏はリオオリンピック・パラリンピックで日本選手が活躍し、4年後の東京大会への期待が大きく膨らみました。一方、政界においては東京豊洲市場の問題、富山市議の政務活動費の不正等、政治家の資質が問われる出来事がありました。私たち議員の責務は行政を監視することであり、この9月定例会では27年度決算を主に慎重に審議しました。

これからも紙面を通して、皆さまに多くの情報を分かりやすく報告していきます。

（編集委員 田邊寛治）

表紙の写真

最後のなぐも万歳を
踊る南雲小学生